

採血に伴う合併症



「採血」は、基本的には安全な手技であり、合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされております。

しかしごくまれに、次のような健康被害を生じるとの報告があります。

< 止血困難・皮下血腫 >

穿刺後の不十分な止血操作などが主な原因です。十分な圧迫止血をしていただきますようお願いいたします。

◎ 出血しやすい患者さまはお申し出ください。

< アレルギー >

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などで、かゆみ・発疹を初めとするアレルギー症状が出現することがあります。

◎ アレルギーをお持ちの方は、お申し出ください。

< 神経損傷 >

採血後も手指へ広がる痛み、しびれなどが持続します。約1万～10万回の採血に1回の頻度で起こるとされています。多くは1週間以内に、大部分は3ヶ月以内に改善します。

< 血管迷走神経反応 >

神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい・気分不快感・意識消失などをひきおこします。

心理的に緊張や不安が強いと起こりやすいとされ、採血前に起こることもあります。

◎ 経験上、ご気分の悪くなられる方は、お申し出ください。

これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。

(なお、その際の医療は通常の保険診療となります。)

採血時のお願い

採血前のお願い（以下の方はお知らせください）

- アルコールにアレルギーがある方
- 血液が固まりにくいお薬を飲んでる方
- 以前、採血後に血がにじんでいたことがある方
- 採血後に広い範囲に内出血をして青くなった方
- 採血時に気分が悪くなった方



採血後のお願い

- 採血後はもまないでしっかり圧迫してください
- 2分後にテープをお貼りいたしますが、その後出血したり内出血する事がありますので、3分～5分ほど圧迫してください。